令和5年度　第57回　中学生の「税についての作文」

『税金のおかげです』

町田市立町田第二中学校　3学年　池田　幸歩

私は税金に助けられてきました。自分の払っている税金が何に使われているのか、ピンとこない人も多いと思います。この作文を通してこういうことにも使われているのだと知ってほしいです。

私は身長がとても低くて幼稚園で身長順に並ぶといつも前の方、五月生まれなのに周りは遅生まれの子たちばかりでした。私が三歳の頃、それに違和感を持った母が私を病院に連れていきました。そして検査を受けると成長ホルモンが少なく、身長が低い病気だと分かりました。お医者さんにはこのままだと身長は一三五センチメートル、十歳の子と同じくらいで止まると言われました。そして私は身長を伸ばすため、治療を始めました。一本七万円ほどする薬を使って毎日注射をしました。そして中学二年生の夏までおよそ十一年間、二五００万円ほどの薬を使いました。とても多くのお金、こんなにたくさんのお金をどうしているのだろうと不思議に思い、母に聞いてみました。すると母は「税金に助けてもらっているんだよ。」と教えてくれました

「税金」という少し難しいような感じのする言葉。子どもの自分には関係のない話だと思っていましたがこの「税金」によって支えられているのだと知りました。後から調べて知ったのですが、私は「小児慢性特定疾病医療費助成制度」という制度を使って治療をさせてもらっていたのだそうです。これは小児慢性特定疾病にあたる病気の子どもの治療費を一部助成する制度で私はこれで注射の薬費を助成してもらっていました。そのおかげで初めは一三五センチメートルで止まると言われていた身長が今では一五四センチメートルまで伸びました。これは全て税金のおかげで税金がなければ私は小学生の身長のまま、一生過ごすことになっていました

社会科の授業で税金について学んだとき、税金は消費税とかで払っているし学校の設備や教科書に使ってもらっているけれど他にどうされているのかあまり知らないという友だちが多くいました。私のように治療費が税金で助成されているということを知る機会は少ないし子どもだけでなく大人でも知らない人がいるのではないかと思います。だからこの作文を通して私のように税金によって支えられ、普通に生活ができている人がいることを知ってほしいです。

私は十一年間、税金のおかげで治療を続けられて困ることなく過ごせています。治療が終わってから、私が皆さんの税金にしてもらった分、私も誰かを支えたいと思います。もちろん税金は病気の治療費だけでなく私たちの学校や公共設備、道路の整備などたくさんのところに使われています。これはどれも一人ではできないことです。私たちは税金を通して支え合って生きています。税金は他人事でなく自分事だということを頭に入れて、感謝を忘れずに過ごしていきたいです。